

令和5年11月 1日  
四国地方整備局 四国技術事務所

## ～危険な災害現場での復旧作業のために！～ 遠隔操縦式バックホウの操作訓練を実施します



**四国技術事務所が保有する遠隔操縦式バックホウ2台を使用し、災害現場での遠隔操縦技術の習得を目指した訓練を行います。**

近年、土砂災害や地震が頻発していますが、災害発生直後の現場では二次災害の恐れから作業員による現場作業が難しい場合があります。そのような場合において、遠隔操縦式バックホウ等を活用することで安全で迅速な作業が可能となります。

○日時 令和5年11月6日（月） 9：00～12：00  
13：30～16：30  
11月7日（火） 9：00～12：00  
13：30～16：30

○訓練対象者（建設会社のオペレータ）

- ・国と災害発生時の応急対策活動等の協定を締結した建設会社
- ・国発注の維持工事等を受注した建設会社

○見学者 建設会社関係者等

○開催場所 国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所内  
(香川県高松市牟礼町牟礼1545)

本施策は、四国地震防災基本戦略及び四国圏広域地方計画の「№1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所

(代表) TEL (087) 845-3135

四国技術事務所 副所長

徳弘 健一 (内線204)

◎施工調査・技術活用課長 山本 久 (内線381)

◎：主な問い合わせ先

# 四国技術事務所への交通アクセス



## 遠隔操縦式バックホウ訓練風景 (R4. 12. 1~2)

直接目視による遠隔操作

モニター映像による遠隔操作



# 【遠隔操縦式バックホウ出動実績(平成16年以降)】

| 出動日             | 出動先        | 規格      | 目的                        |
|-----------------|------------|---------|---------------------------|
| H16.12.07~14    | 香川県三豊郡財田町  | 0.45m3級 | R32土砂崩壊による撤去作業            |
| H17.02.28~03.31 | 徳島県那賀郡木頭村  | 0.45m3級 | R195土砂崩壊による撤去作業           |
| H20.04.25~05.15 | 高知県吾川郡いの町  | 0.45m3級 | R194土砂崩壊                  |
| H28.04.18~06.08 | 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 | 0.45m3級 | 平成28年熊本地震による法面崩壊箇所の土砂撤去作業 |
| H28.04.18~09.29 | 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 | 1.0m3級  | 平成28年熊本地震による法面崩壊箇所の土砂撤去作業 |
| H29.11.22~23    | 愛媛県西条市中奥   | 0.45m3級 | 県道12号崩壊現場の撤去作業            |
| H30.07.14~11.13 | 高知県長岡郡大豊町  | 1.0m3級  | 平成30年7月豪雨 崩壊箇所の土砂撤去作業     |
| H30.09.07~22    | 北海道勇払郡厚真町  | 0.45m3級 | 平成30年北海道胆振東部地震における支援      |

※注: 1.0m3級: 1.0m3級遠隔操縦式バックホウ(空輸対応型・分解組立型)

0.45m3級: 0.45m3級遠隔操縦式バックホウ

## 災害現場における遠隔操縦式バックホウの出動事例

(平成30年 7月高知自動車道立川橋復旧現場(高知県長岡郡大豊町))



平成30年7月7日未明、梅雨前線の活発化による豪雨のため、大豊町の高知自動車道で大規模な斜面崩壊が発生し、上り線の立川橋が流出。

H30.7.14~11.13当事務所保有の遠隔操縦式バックホウ1.0m3級にて災害復旧を支援。



オペレータ  
(作業員)

遠隔操縦式バックホウ



離れた場所からモニターで確認しながら操作



目視が困難な場所は、モニターにより確認しながら遠隔操作を行う。

※ バックホウは油圧ショベルとも言われている建設機械です。遠隔操縦式バックホウは、二次災害の発生が予想される危険な災害現場でもオペレータは、機械から最大150m離れた安全な場所から遠隔操作できます。